調布市立小・中学校プールのあり方に係る基本的な考え方（素案）

1　検討の経緯・背景

高度経済成長期から昭和５０年代にかけて集中的に整備した学校施設の多くが築後４０年以上経過し老朽化が進んでいます。学校施設は公共施設の総延床面積の半数以上を占めており公共施設マネジメントの取組全体の中で重要な位置を占めています。

また、学校施設を取り巻く環境は、不足教室対策や近年の猛暑等への対応など複雑かつ多様化しています。

特に学校の屋外プールでの水泳授業に関しては、猛暑等の影響で授業の計画的な実施が困難になるなど教育課程を編成する上で大きな影響を及ぼしており、児童生徒にとって、より安全かつ安心な学習環境を確保することは重要な課題となっています。

一方で、市内２８校全ての学校プール施設について、老朽化に伴う施設の更新を含めた維持管理費用に関しては、市の財政負担の比重が非常に大きいため、公共施設マネジメントの取組全体の中で、中・長期的な視点による計画的な整備が必要です。

これらを踏まえ、学校プールのあり方に係る基本的な考え方を整理することとしました。

2　これまでの主な取組

【プール施設に関すること】

市内公立小中学校２８校全てに学校プール施設が整備されており、屋内プールを保有する調和小学校以外の２７校は屋外プールです。これまでプール水槽や水質を保つための循環浄化装置などの設備については予防保全の観点からそれぞれの耐用年数を踏まえた改修を行っています。

〈プール水槽等の改修〉
概ね１５年を耐用年数として期間内に水槽の更新やシート張替え等の実施

〈循環浄化装置改修〉
水質管理を適切に行うための循環浄化装置の改修実施

〈シャワーの温水化〉
シャワー水栓の更新と併せ、ガス給湯器を設置したシャワーの温水化を一部実施

〈日除けの設置〉
紫外線対策としたプールサイド上部への部分的な日除けの設置

【水泳授業に関すること】
- 天候等による水泳授業中止に対応するため、水泳授業を前倒して６月初旬から開始
- 調和小学校の屋内プールを利用した外部指導員による授業補助形態の効果検証

3　主要な課題等

○ 学校プール施設の老朽化に伴う維持管理コストの上昇
- 近年の人手不足や物価高騰や社会情勢の変化による影響

○ 老朽化した複数施設における更新時期の重複
- 更新時期が重なるため単年度に発生する財政負担の偏り

○ 更新に係る諸費用の高騰
- 屋外プール更新（約４億円）、屋内プール整備（約１６億円）

○ 環境の変化に伴う児童生徒の安全確保
- 紫外線対策
- 屋外プールでの水泳授業における猛暑への対応

○ 環境変化に対応した学校プールでの水泳授業の継続

○ 水位や水質などの日常の維持管理における教員の負担

4　学校プールの現状と今後のあり方に関する課題整理のポイント

現状	課題整理のポイント
・夏季期間中における屋外プールでの水泳授業を実施（屋内プールの調和小学校は除く） ・教員が屋外プールの水位や水質を管理	・近年の環境の変化に伴う水泳授業の実施方法の検討 ・調和小学校の屋内プールでの外部指導員による水泳授業補助形態の効果検証
気候変動に起因する猛暑等への有効な対応策がない ・児童生徒の安全確保が困難となっている ・授業の計画的な実施が困難	・屋外プールでの水泳授業における児童生徒に対する安全確保に向けた抜本的な対策 ・水泳授業時間の安定的・計画的な確保
屋外プールの更新や維持管理（※）に係る諸費用の高騰及び更新時期の集中による財政負担への懸念 （※耐用年数に合わせた施設の改修、プール水槽や循環浄化装置の保守点検委託、清掃委託など）	耐用年数を踏まえた施設及び設備の維持保全に係る費用の削減 ・これまでの維持管理及び更新の方向性の転換 ・財政負担の平準化 ・財源の確保及び整備手法における費用対効果の検証

5　学校プールのあり方に係る基本的な考え方

○ 屋外プール施設の更新（建替え）は行わず、屋内プールを整備する。

○ 屋内プールの整備に当たっては、全校には設置せず、地理的要因や地域バランスを踏まえ、複数校で使用する拠点校に整備する。

6　今後の取組

屋内プール整備については、施設配置や財源の確保など、市全体の公共施設マネジメントや、市の財政フレームにおいて重要な課題となります。市立小・中学校２８校全校が拠点校の屋内プールでの水泳授業の実施が実現できるよう、引き続き以下の内容について検討を進めます。

○ 拠点校の選定及び屋内プールの整備に向けたロードマップの作成など、引き続き、より詳細な検討に取り組みます。

○ 拠点校の整備までの間、屋内プールでの水泳授業が実施できない学校においては、既存屋外プールの継続使用を基本とします。併せて、暫定的に民間事業者の保有する屋内プールを活用した水泳授業や、近年の猛暑を踏まえた対応についても引き続き検討します。

○ 屋内プールにおける水泳授業については、外部指導員の配置も併せて検討します。

○ 屋内プールでの水泳授業に移行が完了した学校の既存屋外プールについては、順次解体します。